

公私連携による両キッズランドの運営にかかる 地域との懇談会記録（八千代会場）

平成28年6月1日（水）20:00～22:00

場所：八千代プラザ

出席者：5名

事務局：岸原教育長、こども未来課 今中、市位

内容：教育長あいさつ

こども未来課から資料による説明

質疑応答・意見交換

■主な意見と内容

・キッズランドの嘱託職員が毎年、民間園からたくさん引き抜きをされている実態の報告があったが、公立の職員のほうが民間園よりも給与が高いのではないのか。

→公立の嘱託職員は、民間園の正職員よりも給与が低い状況である。また民間園の保育士はここ数年処遇が少しずつ改善されてきているので、民間に移れば給与が良くなるということや、正職員になれるということで民間園に職員が流れている状況である。

・仮にキッズランドやちよを楽久園会が受けることになって、将来、俵田地区にある高齢者施設に空きが出てきた場合に、こども園の拠点を俵田地区に移したいということになったらどうなるのか。

→キッズランドやちよの施設を改修し法人に譲渡したいと考えているので、ここを拠点に永くこども園として運営していただくように公私連携法人の協定をしたいと考えている。よって、こども園の拠点を移すようなことは町として認める訳にはいかない。公募の段階でも、条件をはっきり伝えたいと思う。

・先ほど町内に拠点を置く法人で、という説明があったが、町内の消費循環を考えたときに「できれば町内」ではなく、絶対に町内法人にしていってほしい。

→教育委員会事務局としても、そのように考えている。

・キッズランドやちよができたときの経緯を考えても、「地域の子どもたちは地域で育てる」ということをコンセプトにしている。その意味からも、町内法人のほうが地域の人たちに受け入れられやすいと思う。

→町内で受けていただける法人がなければ町外法人でもよいのでは、というご意見を懇談会の場でいただいたので、そのあたりも含めて子ども・子育て会議で協議していきたい。

・子どもたちのことを一番考えているのは地域の人たちであるので、地域の人たちで構成するNPO法人や地域立で社会福祉法人を設立して運営する方法はどうか。

→近くでは丹波市がその取り組みをされている。ただ保育所等の運営の経験があり、運営のノウハウをお持ちの法人のほうがスムーズに移行できると思うので、これから法人を設立して大丈夫なのかという不安は残る。今後、子ども・子育て会議で協議していきたい。

・宍粟市のうまくいった事例が報告されたが、スタートできるまでにどのくらいかかったのか。また、宍粟市内の他の地域はどうか。

→保護者や地域の人たちと話し合いを続け、2年ほどかかったと聞いている。できる地域から取りかかったそうで、他の地域はまだこれからのである。

・認定こども園制度がスタートして10年ほどになると思うが、最近は認定こども園になる手続きが比較的簡単になっていると聞く。公立の認定こども園になるという考え方はないのか。

→申請して公立の認定こども園になることも可能であるが、施設型給付費がもらえる訳でもなく、メリットがみつからない。よって、公立の幼保連携型認定こども園になる考えはない。

・法人が受けるにしても、やはり黒字経営ができないことには受けてくれないので、経営ギリギリのところまで保育士の数も十分に確保できず、良い教育・保育ができるのか不安。教育・保育の質が確保されていくのか。

→民営化すれば国・県・町から運営費補助を受けることができるので、十分に利益は出ると考えている。公立以上に民間のほうが職員配置にしても良くなる。公私連携で教育・保育の質向上に取り組んでいきたい。

・最近特に0歳児の途中入所が多いと聞くが、多可町でどんどん子どもを産んでもらえるように、0歳児もできるだけ受け入れるようにしてほしい。公立なら受け入れ可能だが、民間園なら無理ということだけではないようにしてほしい。

→民間園のほうが手厚い人員配置が可能なので、公立、私立に限らずできるだけ受け入れていく方向で取り組んでいきたい。

・5歳児教育も大切であるが、3歳までの教育が大切であると思う。幼児期の教育、親育ても含め、町ではどのように取り組んでいるか。

→保護者同士の交流の場づくりや子育ての悩み相談、親育ちの講演会開催など、子育てふれあいセンターを中心に取り組んでいる。

・公立の経験しかない加美区、八千代区の人たちにとって、公立の安心感、民営化への不安は大なり小なりあるのは事実。でも公立だから良いということにはならない。公も民もそれぞれ良いところがあり、特色ある教育・保育がされていると思う。公立、民間の差はないと思うが。

→おっしゃるとおりで、公立も民間もそれぞれ特色あるカリキュラムで取り組んでいただいており、差はないと理解している。公私が連携していかに教育の質を高めていくかであると思う。

・むしろ公立がダメであると思う。キッズランドの嘱託職員の一部は、職員としてなっていない。正職員の嘱託職員への指導のあり方にも問題があるし、教育委員会がキッズの正職員にしっかり指導ができていないと思う。

→問題があれば、その都度、職員に対して指導を行い、すぐに改善するようにしている。

・公私連携がミソであり、町がいかに関わっていくかがポイントである。宍粟市のように運営協議会を設けるなどして、良い方向で検討していただきたい。

→宍粟市のちくさ杉の子こども園には、多可町の子ども・子育て会議として視察研修に出向く予定にしている。十分に調査し、今後のあり方は子ども・子育て会議で検討していきたい。

・保護者や地域の皆さんの不安を払拭して、数多くの意見を聴く場を設けてほしい。懇談会を重ね、理解をしてもらえるまで開催していくことが必要。保護者の皆さんが多く集まる場をとらえて懇談会を開いてほしい。

→キッズランドの保護者の皆さんとは保護者会総会のときにお時間をいただき懇談会を開いたが、十分に時間が取れず多くのご意見をいただくことができなかった。よって、改めて日曜日の午前中と平日の夜の2回に分けて再度、懇談会を計画している。また、これからこども園やキッズランドに通うことになる未就園児の保護者の皆さんとの懇談会も計画している。ほかに、八千代区区長会からの懇談会も申込を受けている。できるだけ多くの場を設け、丁寧な説明をしてご理解を得ていきたい。